

【別表A(5) - 1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄(■)を記載ください。黄色欄(■)は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末					
各資金の明細		実施時期(年度) 西暦	所要額	残高	
			円		円
			円		円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末					
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高
	円	円	0 円	8,000,000 円	8,000,000 円
					11,450,000 円
各資金の明細		実施時期(年度) 西暦	所要額	取崩額(個別)	備考
50周年記念事業積立資産	資産	2028	8,000,000 円	円	
什器備品取得積立資産	資産	2027	3,450,000 円	円	

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細	期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
50周年記念事業積立資産	円	8,000,000 円	43 月	2,232,558 円	3,487,104 円
什器備品取得積立資産	円	3,450,000 円	33 月	1,254,545 円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細	積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
50周年記念事業積立資産	円	
什器備品取得積立資産	円	
合計	0 円	0 円

【別表A(5) - 2(公益充実資金の明細)】

資産	
特定の事業又は資産取得等の名称	50周年記念事業積立資産
当該活動の内容	令和10年3月にセンター設立50周年を迎えるにあたり、令和10年度に実施する50周年記念事業に係る公益目的事業会計の費用として積み立てる。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2026 年 3 月 ～ 2028 年 10 月 月数 (31 月)
所要額の算定方法	設立50周年記念として実施する各種事業の経費の見積額の合計を積立限度額とした。令和元年度に実施した設立40周年記念事業の実績額を参考に、以下のとおり見積り、その合計額を積立限度額とした。 ・会場費:400,000円 ・講師料:1,500,000円 ・旅費交通費:100,000円 ・通信運搬費:400,000円 ・消耗品費(記念品等):1,600,000円 ・委託費(進行・運営等):3,000,000円 ・印刷製本費(ポスター、チラシ、会報誌等):1,000,000円 合計:8,000,000円

資産	
特定の事業又は資産取得等の名称	什器備品取得積立資産
当該活動の内容	センターが実施する公益目的事業(広報誌の編集、印刷および配布等)においては、印刷作業を内部で適切に行うため、印刷機は欠くことのできない設備である。現在使用している印刷機は、令和9年11月にリース契約(7年間)が終了する予定であり、故障頻度の上昇や性能低下も見られることから、近い将来の更新が必要となる。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2026 年 3 月 ～ 2027 年 12 月 月数 (21 月)
所要額の算定方法	・積立限度額 3,450,000円 ・算定方法 販売業者より提示された見積総額345万円を積立限度額とした。